滿洲日報

油豆行情（中曆正月初三日）
集市元豆六吊一百至六吊
青豆價錢五吊九百文至五吊五百文
小米價錢六吊九百文至六吊二百文
紅糧價錢五吊二百文至五吊
合豆價錢四吊八百文至四吊七百文

醬油 三斗四升 同十…圓
仝 仝 仝 同十一圓
仝 仝 九舛入 同五圓
仝 仝 仝 同四圓
赤味噌 大樽 同九圓三十錢
札幌麥酒 四打入 同九圓八十錢
蜂印香竄葡萄酒 仝 同二十二圓五十錢

鰻混布卷 八打 同十三圓五十錢
仝蒲燒 仝 同二十三圓
筍 二打半 同八圓五十錢
梨 四打 同十一圓
桃 仝 同九圓五十錢
人形ミルク 仝 同十二圓五十錢

一中等塊炭 仝 仝 …五十錢
一仝切込 仝 仝 十四圓五十錢
澤龜 正味四斗四升入 十七圓
サッポロビール 九圓七十錢
（宅合名會社調査）

…$4.00 per 6 months.
Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

廣告料
一ヶ月以上 一ヶ月以內 銀十五仙乃至十仙
一長期連揭減價面議

發行所 清國營口中盛街
滿洲日報社
（電話二九番）

○報價目
毎月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊價
一行五號二十一字起碼登一日者毎行二角毎登十日行一角五分登月者毎行毎日一角登長年者價當面議從減
毎張四百文

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所
橫濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫動 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話十番 支配人室
百八番 事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

來ル廿五日ヨリ三十日迄支那正月ニ付臨時休業致候也

明治三十九年一月廿二日

橫濱正金銀行牛莊支店

滿酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭
以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也

松茂洋行商業部
河岸通（電話五十二番）

滿洲日報各地賣捌所
滿洲日報廣告取次所
大連市穩岐町三百三十八號
日華運輸公司
遼陽 遼陽俱樂部
谷口今朝太郎

三井洋行

倉庫部

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷着

●精製白砂糖新入荷物あり

今回倉庫所在地（青堆子糈搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八番）

宅合名會社

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印幷一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋陂鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸

總司理人 田中賴之助謹白

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢豆餅油豆各等土貨進口租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船代客經理買賣方寛大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚選邏知之
正理事潘玉田 副理事金德魁
設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寛大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

恒有長

本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一應俱全價值格外從廉克己幷另設銀爐包營鎔鑄以應急需久爲中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

元茂盛

油坊買賣元荳油荳餅雜色糧石以及代客購辦雜貨布疋一概發行裝運沙寗鴨船交易南北客商歷有年矣爲此謹白
開設營口西街老爺閣前路北警乙第四十九號

德商 生洋行

啓者本行由外洋運來金山松木大小方子厚薄板片以及樓板並有道木性皆堅固貨高價廉賜顧者乞至本木廠面議
營口西街潮溝西本行主人啓

代代求烟公司

本行專售日本官造紙烟星象牌（斯達）櫻花牌（撻利）百合花牌（利利）均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉諸尊欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

玆爲軍用手票公定行市變動倣行販賣各種紙然雙鶴牌（隆沽來福）百合花（利利）櫻花牌牌（撻利）星象牌（斯達）無論批發零售均爲格外減價倘蒙賜顧以廣招徠

森病院

一診察 自午前八時至正午十二時 自午後三時至午後五時
一往診 午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す（取扱主任產婆大道しげ子）

院主 森 鐈
醫長 鈴木昌平
營口永世街（電話一五五番）

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL ENGINEER.

Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

謹告

昨年八月下旬營口秋田組閉鎖以後韓國の事業に着手致居り遼東北淸地方の營業は一切不仕從而店員等派遣致候事無之處頃日秋田組或に秋田商會の社員と稱し各地徘徊不正の行爲なすもの有之由聞及候得共弊商會には全く關係無之候に付此段爲念謹告仕置候也

明治三十九年一月
韓國仁川
合資會社 秋田商會
代表社員 秋田毅

一關內外蘆漢鉄道貨物運輸（但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候 但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱）
一海關手續
一鈔關手續（但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱）
一船舶荷物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大淸通運公司
營口支店

大日本政府特定
官製營口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行
營口永世街

各種材木
廉價大販賣

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、襪子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價值格外從廉克己、凡中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、
大阪府堺市熊野町 藤原謹啓

壚川商會
營口永世街二本町

和泉洋行

田中牛莊分莊

啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉 賜顧者請光臨本舖面閱是幸
田中牛莊分莊謹啓

材木販賣
荒物

秋田洋行

營口永世街第一八四號平野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需國本主人啓

倉庫業

倉庫位置
營口綏定門街（公和窰）院內
郵船會社碼頭ヨリ西二丁余
商船會社碼頭筋向イ
河岸ヘ半町ニシテ馬車ニ陸揚ゲ便最適當ナル位置
新玉號倉庫部
（電話一五七號）

雜貨卸商

在元營口神廟街
關東公司雜貨部

代理
道勝銀行

啓者本行代理道勝銀行匯兌以及押款借款等項格外公道如蒙賜顧請移玉本行帳房面議可也
德商 瑞記洋行代理人謹啓

東京電報

（一月廿五日特別通信員發）

●韓國報聘使の參內　韓國報聘使李載完君本日參內謁見桐花大綬章を授けらる隨員にも夫々叙勳の御沙汰ありたり

（一月廿六日特別通信員發）

●兩大將の補任　陸軍大將乃木希典同川村景明二氏は本日軍事參議官に補せられたり

倫敦電報

●伯國軍艦の爆沈　ブラジル國軍艦アキダバン（四千九百五十噸）はリオドジャネリス附近に於て火藥庫破烈の爲めに座乘せる海軍大臣及びフォーブ提督を始め溺死者三百人に達せり（一月二十三日發電）

雜報

●野津大將への勅語　野津第四軍司令官過日參內天皇陛下に拜謁仰せ付られ戰況復命の節親しく左の勅語を下し賜はりたり

勅語

卿第四軍を指麾し友軍と策應して析木城方面の敵を擊攘し爾後各地の戰鬪咸く偉功を奏し克く其軍の任務を達し洵に朕が望に副へり朕今親しく作戰の經過を聞き更に卿の勳績と將卒の忠勇を嘉賞す

●米淸貿易の好調　華盛頓政廳の報告に據れば昨年一月より十月に至る十箇月間支那に向つて輸出したる貿易額は從來米淸兩國間の商業歷史上未曾有の好調にして其前年度額二千五萬七千百八十四弗に對し昨年は五千十萬四千七百六十七弗の巨額に上れり同年中上海に於ける米國商品排斥運動の激烈なりしにも拘はらず斯の如き發達を見るは蓋し異數となすへく淸國を大花客とせる我か貿易業者の注意を要すへき趨勢なりと當局者は語れり

●露國提出の條件　信用すへき某外交家より聞く所に依れば早晚開始せらるへき露淸協商の條件として露國より提出すへき條件は

第一　露國は淸國の自由權を尊重し兩國永久の友誼及び善意を維持すへき事

第二　淸國が滿洲を開放する時は各國均しく其權利及び特權を協議し不公平又は各國の權利に區別を置くべからさる事

第三　露國は蒙古に於て鑛山採掘の特別權利を受くへき事

第四　露國は支那土耳機斯坦に於て通商の特權を得へき事

第五　若し淸國政府に於て張家口及び庫倫を萬國通商のために開始せんとするときは第一露國に通牒し取極をなすへき事

第六　千八百八十一年の條約（伊犁條約）を改正する事

第七　露國は日本と同樣に東三省に於ける通商特權を享有する事

第八　黑龍江省に敷設すへき總ての支線鐵道は露淸兩國に於て敷設運用すへき事

等の數個條なりといふ

●樺太境界委員　日露兩國に於ける樺太の境界は冬期積雪間實際決定する能はさるを以て未た委員の選定をも見さる次第なれとも今春雪解を待ち委員を任命し直に決行せしむる筈にて委員には外務省側及び東京帝國大學教授中より任命され樺太民政長官の如きも特に委員を命せらるへしと云ふ

●韓國輸出稅廢止　韓國の輸出稅は我が政府に於ての彼我貿易上有害なる事を認め居れば是が廢止は統監府の意見確立次第直に實行の運びに至るへしと云へるが從來韓國は自國產の輸出貨物に五步の輸出稅を課したる結果最近十年間輸出貿易は少しも伸長せす却て退步の趨勢を示し且其輸入地は總て本邦なるを以て輸出稅の爲に不利益を蒙るは即ち本邦なれば此際該稅の廢止は彼我兩國の爲に緊急の要務なり尙韓國が是れまで輸入稅に依りて得たる收入は極めて微々たるものにして僅に三十二三萬圓に過ぎず而して輸出稅の廢止は韓國の物產を獎勵し輸出の增加を來し從つて韓人の購買力を增進すへきを以て彼我の貿易は之に由つて大に發達すへしと

●政憲提携終に斷絕　過日西園寺侯と大石正巳氏との會見にて政憲兩黨の提携は當分持續さるへき筈なりしか其後に至り政友會は憲政本黨と提手する事の危險なるを悟り竊に欵を大同倶樂部に通し兩者の間近來頓に接近しつゝあるは事實なるが過日首相官邸に於ける衆議員各派代表者集會を期とし政憲兩黨領袖のみ居殘りて議會に於ける常任委員の選擧は政憲兩黨及び大同倶樂部の三派に按分比例を以て分配したしと政友會領袖より交涉を申込たるに憲政本黨代表者は直に之を排斥したれば政友會代表者も誠に已むを得さる次第なりとて袂を分ち其後政友會にては更に常任委員は各三大派に於て按分比例を以て分配する事と決議したれは兩三年提携し來りたる政憲兩黨の關係は茲に全く斷絕することゝなりたり

●戰術の改良　各兵科の操典は年々改正を加へ徐に戰術其他の改良をなしつゝありしに日露開戰以來は操典に改正を加ふるの餘地なきのみならず例令改正するも之を實行する能はさるを以て從來の操典を土臺とし實地の經驗によりて適宜に改良を加へ來りしが日露戰爭の結果として各兵科を通じ改良を加ふへき點多數を發見し目下其筋に於ても取調中なれは遠からず委員を設けて操典の改正に着手するとなるへしと

●浦塩冬期入港自由　浦塩斯德入港船舶に關し此程外務省通商局長より神戶商業會議所に電報にて左の通牒ありたり浦塩斯德は冬期中商船の入港差支なく同港に入港の商船はアスコリド島燈臺及び信號所に向つて正北に進行すべし水先案內はナヘツニク灣アスコルド島の正南隅にあり

●日米版權條約　曩に東京に於て我政府とグリスカム公使との間に調印を了したる日米版權條約の正本は舊臘グリスカム公使歸國の際之を携へ歸りたる由にて近々雙方通牒の上同時に批准を了し該條約は近日赴任の米國新公使携帶し來り東京に於て正式に批准交換を行ひ直に發布の筈なりと

●海外移民の年齡別　移民保護法に依り一昨年中渡航を許可せられし本邦移民總數は男女總計一萬四千六百六十三人及び携帶兒五十三人なるが今之を年齡別に表示する時は左の如し

	廿歲以下	廿歲以上卅歲以下	三十歲以上四十歲以下	十歲以上	合計
男	四、〇八三	五、三八三	三、〇〇八	七八七	一三、二六一
女	四〇一	七〇三	二四七	五一	一、四〇一
計	四、四八四	六、〇八六	三、二五五	八三八	一四、六六[illegible]

故に全數百に對する比例を採る時は二十歲以下三十八六分、二十歲以上三十歲以下四十一人五分、三十歲以上四十歲以下二十二人二分、四十歲以上五人七分の割合にして二十歲以上三十歲以下が最も多數の移民を出す譯なり

●青島に於ける獨逸麥酒　昨今同地方よりの來信に據れは青島に於ける獨逸商工業中將來に於て發達の見込十分なるは麥酒會社にして名にし負ふ本場の原料を運びて其釀造に勤め其品質が優等なるのみならず其價格も亦比較的低廉にして日本麥酒を山東より驅逐し殆と全勝の姿にして本邦業者の大に注意事實なりと云ふ尙同地にて柞蠶絲製造もあれども是れ等は將來の發達覺束なしと

●露國海相候補　騷亂平定の爲めクロンスタツトに赴さたる露國海軍大臣ビリレフは同地より辭表を呈し後任としてドバサツ提督を擧けたるに提督も固辭したるを以て日本より歸國の途にありしロゼストウエンスキー提督に向ひ電報を以て海相たるの意なきやを問合せたるに當時之は辭したるも今日となり海相たらん希望を有せりと云へは同提督の就職を見るならんかとの說あり

●滿洲博覽會開設　大阪、京都、神戶、名古屋の四商業會議所にて立案せる滿洲博覽會は其筋にても相應の補助を爲す筈なれば若々計畫の步を進むる事なり差當り奉天に於て右に使用すへき適當の家屋あるを幸ひに目下歸朝中の石塚民政署長官赴任の節四會議所中より隨伴渡航して一切の取定めを爲す事となり居れるが當局にては可成之を永久的のものとなさん意嚮なりと

●韓國博覽會の計畫　經濟上其他有形無形に日韓兩國民の親密を圖るには此際韓國に日韓兩國の物產博覽會を開設すること最も有効なりとの事にて昨年韓國商業會議所聯合會の協議にも上りたるが當時は未だ本邦の對韓政策確定せず居留民の獨力にては到底及ぶ可らさる事とて其儘となり居たるも今回愈々統監府設置されたれ日韓の關係益々親厚なるべき形勢となりしを以て此際韓國經營の第一着として明年中に博覽會開設の運びに至らしめたしと在韓國の實業家よりも伊藤統監に交涉方を在京中の某氏に依賴し來りたりと因に博覽會の經費は約百万圓位のものなりと

●烏港元山間定航　在烏港第一東洋瀛船會社は其の所有瀛船ナーフー號（三百八十一噸）を以て元山烏港間の定期航路を開始し去る十一月二十九日初航海を爲し十二月十二日第二回の入港を爲したり爾今同船は一週一回往返し結氷中と雖も休止する事なき由元山領事より報告ありたり

●浦港樺太間電信開通　浦塩斯德より樺太に至る電信線開通したる旨在上海帝國電信會社より通報ありたりと遞信省より告示ありたり

●三博士の免職　東京大學問題圓滿に解決され强硬の教授連も此際皆復職するやに傳ふるものあれとも今其眞相を聞くに曩に辭表を提出したる各教授は何れも有耶無耶の間に留任することゝなりたれども從來最も强硬の態度を持しつゝある寺尾、建部兩教授及び戶水講師の辭表は愈と近日聽許せらるゝことに決したりと

●南部伯銅像建設費下賜　奉天開戰に戰死せる近衞騎兵中尉南部利祥伯の爲め舊藩臣間に紀念銅像建設の企てある由皇太子殿下の御聽に達し學習院に於ける御學友又東宮出仕たりし舊情を思召し其費用の中へ金三百圓御賜下相成りたり

●海軍將校の特別練習　三十七八兩年に於ける海軍兵學校卒業生三百餘名は戰役中にて遠洋航海をなすに至らす直に出征したるか右卒業生中其後少中尉に累進したるものあり此儘にては實地練習の經驗を缺く次第なれは此度其中より三十五名を選ひて練習艦隊に分乘せしめ其他の三百餘名は某艦に分乘せしむることに內定したり

●圓了博士の學說大成　今回哲學館大學長及び京北中學校長を前田博士に讓りて退隱したる井上圓了博士は今後東京府下和田山の哲學堂に閉籠り昨年四月開園したる京北幼稚園を監督するの外は一切俗務を絕ち尙は佛敎活論第二編の起稿に從事し向後十年を期して其學說を大成する決心のよし

●衆議院建議者へ注意　近來衆議院に宛て建議書又は意見書を送付し來るものあり中には一顧の價値あるものなきにもあらさるか建議書又は意見書は請願書と異なり院議に附すへきものにあらす折角の苦心も無効に歸することゝなれは寧ろ正式の手續を經て請願書と爲すに如すとのことなり

●大山兒玉兩將の參宮期　大山總長は兒玉總督歸京の上事務の都合を見計らひ相携へて伊勢大廟に參拜すへく其期は多分二月末か三月上旬なるへく總督は去る二十二日基隆出發の便船にて歸京の筈なり

●九州の癩病　政府にて近時癩病患者取締方法の必要を感し其取締法案として今期議會に提出すへき筈政府調査の同患者昨年中の全國死亡者數は二千三百十六人、此內熊本の百六十九名を最とし宮崎の百二十名、鹿兒島の百二十一名、福岡の八十九名、佐賀の四十六名、長崎の四十九名、大分の九十八名なり九州一圓最も多く四國山陽東海之に次ぐ注意すへき現象なり

●舊曆新年の市中　每年營口は冬期に入り二重の封鎖を受くるを常とす一は氷雪により遼河の凍結と共に船舶の航通を杜絕し沸くが如き埠頭倏ち變して死せるに近く二は陰曆正月より各戶固く戶を鎖して途に商賈の影を見ず平生人馬雜踏して大路小路に塡咽せるもの是に於てか忽然火の消えたらんが如し營口にして已に此二大封鎖を受く其寂寥以て知るべし一昨々來適々陰曆正月に當り編輯亦二日の安息を得て外出市中をそゝろ步るきさす有ゆる活動を停止せる死樣的營口何の記すべき無しと雖も靜肅の中自ら和氣洋々として春色掬すべく爆竹の聲銅鑼の音屋內奧深く聞えて何れか芽出たき新年の徵しならずとする況んや其第一日は日麗かに風暖かに十數年來稀れに見る所の好天氣なりしといへば本年の新舊兩正月は均しく太平の曙光に浴して我皇の影日向なき仁慈の惠みをぞ最と尊く仰がれたら二日夜半に至り雪ぞらと爲り三日目には白皚々として一面銀世界と化し更に淋びしさ哀れさを加へしが如くなりしも雪は豐年の瑞といへば萬更忌むべき事にはあらじ支那人が永き安息より起き出でんは尙十數日の後なるべきも我等がお相伴の新年は昨日限りいでや是れより再び禿筆を呵し勵精以て江湖に見えんかな

●小林副官より來狀　曩に久しく當軍政署に副官として輿倉長官を補佐し今は昌圖軍政署副官たる小林大尉より左の書信を得たれば參考の爲め之を揭載す

却說此度營口と最も關係を有する遼河輸送業に就き新智識を得候に付き或は既に御聞き及ひかとも存候得共聞くが儘を一應御報導申上候即ち兼ねて通江口より上流には蒙古王の禁封に依り貨物輸送を爲さゞりしも昨年我軍の水路輸送を小塔子迄實行せる結果奉天將軍衙門より夏端符なる者を遣はし蒙古博親王府と商議し本年解氷と同時に遼河航行を遼源州迄許す事と相成居候由從ふて貴地に於ける輸送業者も只だ漢人と結合せるのみにては不都合の點尠なからさる可く此際是非蒙古人と合同する必要可有と被存候尙は本年は通江口には豆の量尠なく單に附近部落のもの丶集合するのみにて北滿洲地方より來集せさる由に候其源因は北方に於ける諸物價騰貴し豆の如きも非常に高價なるに起因する事と被存候

●輿倉蠟山兩氏の北京出張　當軍政官輿倉中佐及び蠟山西稅關長は或重要の用件を帶び何れも一昨廿六日出發北京に赴けり

●本願寺の日曜說敎　當地永世街矢野洋行向側なる本願寺出張所には定例に依り本日午后一時及び七時（營口時間）の兩回に於て日曜說敎を開きて常識と他力信仰との演題にて寺本布敎師より說敎ある由なり

●ボヤ　去廿五日午前三時頃西北街日本人會裏稅關官舍附コツク部屋より出火し同三時半頃鎭火せり原因は同コツク部屋にて淸人ボーイ等が石油鑵に火を焚き其儘他出したる跡にて火焰の强き爲め壘に燃移りて天井に延燒せしと險呑なる事かな

●夜巡の効能　市內一時物騷の傾向ありし結果夜巡なる者新設せられたるが今其の筋に付て聞くに格別の効能あるまじと何人も心中に於て輕侮を懷き居る此の夜巡りは實際に於ては侮る可らさる効力あり胡論の者を引致し來る事度々にて爲に近頃は市內復た小賊の姿を見る無きに至りたりと

投書かご

▲平の町御法樂湯の不潔なるには實に閉口する水は汚なし洗場の板はネチャ〲其上に早くよりチャンコロに入浴させるとは實に不都合千萬の老爺じや（同町住民）▲不景氣とか金儲がないと云ふても例の狐や猫は倍々多く渡來して今では營口中で四百と五十も居るそうだ之等の獸に立派な絹布を纏はせて恐悅がる人が未だ多い樣だ（キガシレン）▲東邦亭の福八さん牛家屯の高帽子は相變らず日參して居りますか（聞鯛生）▲藝妓一時間の線香代二圓と御社の記事に出て居りましたが僕は元神廟街の〇〇亭にて矢張り二圓四十錢の割に取られました何れが本統ですか（放蕩息子）▲今金牛肉店に此間淫賣婦を連れて牛肉を喰ひに行つた眼鏡先生あり大威張りに威張ちらかし得意となり其女が橫へ向いて鼻毛を讓んで居るのも氣附かず薩广芋の親方でゲースな（仲居）▲世の中は何が仕合になるやら玉塚の猫金駒とか云ふ丸ボチャは平安洋行の通辨類に六百圓で身受けせられ四五日程經て類先生突然の病氣で死んだそうですが跡の家財其他悉皆頂戴して今は日本人の候補者を探がして居るそうだ（探知生）

●裸體の儘大目玉を頂戴す　世の中にいろ〲の間違から飛んでも無き事の生ずると多くあるの中に裸體の儘に大目玉を戴くとは扨ても風變りの話なり而かも夫れが婦人ときては尙更お腹の臍が宿替しそうだ現時二本町祇園閣にて、食〇〇として下手な武士よりも餘程怪腕のあるお新お雪の兩大關は去る舊正月元旦の日に去年の垢を一時に落さんと云ふお考か將又磨きたてゝ例の甘垂仲間の誤愛顧を去年に增し一層繰つらんとの野心か夫れ迄は不粹な記者には一向判らぬが兎に角時もあらうに晝の日中に橫町の永世湯に至り如何なる間違か男湯にて眞鍮の藥鑵でも磨くが如く一心不亂に磨き立ての眞最中を其筋の憲兵に認められコラ！と大喝一聲散々の小言を頂戴し〇〇に手拭を宛て張り子の虎の如くペコン〲と頭を下けやつとの事に說論で御放免とは姬御前のあられもなき事なり

●恐喝取財者の處刑　林理一郞なる者淸人を恐喝し金錢を奪取したる事は去日既に報道する所なるが一昨々日領事館に於て重禁錮二ケ月罰金四圓監視六ケ月の判決ありたりと

火車開行

▲上行車時刻表

車站名	午前點分	到午點分
新民屯至淸邦子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	[illegible]	下六、二〇
山海關至天津	上五、〇〇	下五、五五

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一
天津至塘沽	[illegible]	下八、三〇
[illegible]	[illegible]	[illegible]

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間下り列車

驛名	發着	時刻
大連	發午前	九、〇〇
金州	着	[illegible]

驛名	發着	時刻
遼陽	着午後	三、五〇
大石橋	發	四、五五
金州	着	一〇、三二
大連	着翌前	[illegible]

上り列車

驛名	發着	時刻
旅順	發午後	二、〇三
大連	着	五、三三

大石橋營口線下り列車

驛名	發着	時刻
大石橋	發午前	[illegible]

天氣

營口地方　自昨日午後六時至本日午後六時

雜報

殖民的國民と日本人

衆議院議員　島田三郎

滿洲に兵を置くと置かさるとは余か關ふ所にあらす、余か大に心を勞する處のものは、日本人は果して眼前に開かれたる滿洲に於て事業を爲し得るや否やにあり。戰爭に勝ちたる日本は、平和の技倆平和の事實に於て失敗することなきを得るか、之れ余か我か國民に向つて大に其の自省を促す所以なり。日淸戰役の前例眼前に在り。食物は我か前に山積すとも一身健康なるに非れは、食ふ以て我か養分となすことを得す。國民健全ならされは利權前に横ふと雖も取つて以て我用と爲す能はす。わか國民は果して立派なる健康體を有するか。

千八百七年以來今日に至るまて、世界に於て殖民的國民として最も繁榮せしものは第一英國にして第二佛國なりき。而かも佛國は殖民的民族として優勝なる地位を占むること能はす、遂にアングロサキソン民族の乘する所となれり。獨乙は然らす、殖民すへき土地はなくして殖民すへき民族あり。佛は土地ありて民族なく、英は二者を兼ね。二者を兼ぬること英國の如くならば此上もなき事なれとも、若し夫れ二者の内其一つを撰はんか、寧ろ地なきも民あらしめよ。見よ、獨乙は曾て殖民を爲すへき地を有せさりしに係はらす、今は次第に發展して。或は亞弗利加に於て、或は西洋に於て、或は東洋に於て漸く其の殖民地を擴張し來れるにあらすや、されは余か賴むへきは土地にあらすして殖民的民族にあるなり。假令間然する所なき條約を締結し得たりとも、もし發展の力を有する民族なきに於ては、其の條約をして十分に有効たるものたらしむること能はさるへし。我か日本民族は果して外に發展するの力を有するや否や、之れ我か國民か大に考ふへき問題にあらすや。

武力を以て、將た又條約に依りて、露を滿韓より退け得たりとするも、今に於て我か國民の缺點を除去するに非れは、折角骨折りて得たる利權も遂に疲勞を得に了りて、好殖民地も他人の手に開拓せられんのみ、見よ、臺灣に於てさへ日本人は今日に至るまて何の爲す所なきにあらすや。其の商業上の利益は皆な支那人の手裡に落ちつゝあるにあらすや。されは今後わか日本國民か世界に向つて平和的殖民を爲さんとするに當つて、大に考ふる所なくんは、日淸戰役の覆轍を踏まんこと期して待つへきなり。

日本國民の大に考ふへきは實に此時にあらすや。日本國民か忠實に自省し、發憤して興起すへきは實に此の時にあらすや。余は問はん、日本國民は殖民の民たるを得るや否やと。而して余は答へて曰はん、今後の日本國民は他國に對して信義ある國民となるにあらされは、世界に向つて大に發展すること能はすと。此處にまた日本人の大缺點あり。そは婦人を尊敬するの心なきこと之なり。婦人を尊敬するの心なきか故に、婦人は彼等と共に行くことを得さるなり。行きても美しき家庭を造りて其土地に安着すること能はぬなり。之もまた日本國民か大に殖民として發展すること能はさるの一因にあらすや。終に於て余は云はん、武に成功したる國民は之を以て誇と爲す勿れ、自から省みて、他に大なる缺點あることを自覺せさる可からすと。

過爐銀に就て（承前）

過爐銀を廢止する方法並に貿易に及ぼす影響

過爐銀は前記の如く一利一害あり銀爐に一任すれは動もすれは巳を利する機關にのみ利用せんとし之を濫用する弊害あり恰も不換紙幣濫發と同一なる結果を生し其害毒と危險の大なる啻に市場を擾亂するに止まらす輸出入貿易を阻害し布て至大の關係を有する我貿易に影響する少なからす且つ本邦人が平時に於ても當地貿易に成功せし者少なき由縁は當地貨幣の複雜甚しきと銀爐の奸計に罹り不知不識の間過爐銀の變動により利益ありと信したるものも損失に終ること數々之あり故に我商業を扶植し貿易上權を我に收めんと欲せは時機を窺ひ漸次過炉銀の使用を廢止するに若くなし而して時機は即ち今日を以て最も適當なりとす目下營口には我軍政署あり日本勢力範圍にして法の布れさるなく命の行はれさるなし且つ日露開戰後本邦人にして過爐銀取引に關係あるもの未た多からす假令過炉銀廢止のため萬一暫し多少の不便を釀すありとするも本邦人等に損害最小なる時なる可れはなり惟之れを廢止したる後何を以て之に換ゆへきやは一問題にして軍用手票の性永遠に通用せしむる事を得は之を用ゆる最も適當なるへけれとも軍用手票は文字の示す如く永遠に通用せしむへき物に非すと信す然らは如何にして可ならんか軍用手票は原一圓銀貨に交換せらるへき物なるを以て軍用手票を通用しめ得へき期間は之を使用し之を回收償却する時機に達せは之を引換ゆる兌換劵を以てし用ゆる一圓銀又は之と引換ゆる兌換劵を以てし其不足は小切手約束手形割引手形等の法を以て補充するとならんか而して軍用手票をして漸次過爐銀の地位を奪取せしめ自然過炉銀使用の區域を縮小せしめ機を見て之れを全廢せは敢て大なる不便を感せしむるなくして目的を達し得へし軍用手票を過爐銀地位に置かんには現時重なる取引を過爐銀にて行はれ相庭も亦過爐銀建なるを改め軍用手票にて相場を建過爐銀を替へすして軍用手票にて直接賣買し得る途を開くと必要なり軍用手票にて市場重要の輸出入品を賣買出來さる間は之れを當地流通貨なりと云ふ可からすして只過爐銀を得る用に供せられ從て政府勘定上海向け爲替取組も巨額に昇を免れす本邦商人の勢力あるもの多數なるに於ては支那商に交渉し油房に說き銀爐に當らは相庭を改る必しも至難の業にあらさるへきも如何せん本邦商人にして支那商と關係を有するものは僅少にして屈指數ふるを得へく到底個人の爲す能はさる所なれとも軍政署領事館の手を以て之を遂行するは蓋し容易の業たる可し以下記するが如く漸々過爐銀の立脚地を奪ひ之か用途なからしめは過爐銀は自然に消滅するやも知る可らすと雖も大略左の方法により之を全廢せは甚しき影響を貿易に及ぼすとなかる可し

第一、漸次過爐銀を廢止することを普く告知する事

第二、一ケ年は舊に依り過爐銀の發行を許し期日決算を勵行し銀爐をして期日に過爐銀の貸借明細表を監督官署に出さしめ貸借差引殘は軍用手票を授受して決算を爲さしめ之に違ふものは次期過爐銀の發行を停止すへし

第三、一ケ年の後は市場の事情を斟酌し過爐銀を發行せんと欲する銀爐には相當なる公債證書（日本政府公債を用ひしむるを望む）又は有價證券又は保證金を提供せしめ銀爐の貨格を定め一ケ月毎に貸借明細表を監督官署に出さしめ尙ほ一ケ年間過炉銀の發行を許すへし

第四、二ケ年の後は一般に無形の過爐銀を使用するを禁止し代ゆるに當座小切手又は三十日拂六十日拂等の約束手形割引手形等を使用せしむへし然れとも手形期限は三ケ月以上を超ゆ可からす

今や過炉銀は久しく決算せられす銀爐又は該連號連類を防くの外浮沈甚しきに苦みたる際なれは過爐銀以外に適當なる媒介物あらは必らす喜んで之れを使用するに賛成するなるへし

附言　以上記したる如く過爐銀にも一利一害あり絕對的に有害物なりとし之を退くる者に非されとも法律德義の制裁なく利己主義のみを以て商業秘訣と爲す支那人の手に過爐銀を委するは危險甚しく貿易の阻害を爲す大なると又一は將來滿洲に我商業を扶植し商權を掌握する楷梯と爲さんため先つ漸を逐ひ過爐銀制度を打破し續て元寶銀の私鑄に制裁を加へ徐々我一圓銀を骨子とする貨幣制度を營口を始めとし滿洲一體に普及せしむる策を講せさる可らす　（終り）

●婦人の鏡使用時間　佛國統計家か計算したる處に依るに婦人の一生涯中鏡前に立ちて暮す時間は左の如しと云へり尤もこれは西洋の統計なれは日本人には應用しがたき節もあり

一、女子は六歲より鏡を使ひ始む
一、六歲より十歲迄は七分間
一、十一歲より十五歲迄は日々十五分
一、十六歲より十九歲迄は日々二十分
一、二十歲よりは少く共一時間以上
一、六十歲に至れは一日十分も鏡に向ふを厭ふ

以上の理由に依り婦人は一般に滿七千時間即ち十ケ月を鏡と首つ引きにて生活するものなりと

値淸國丙午新歲乃襲鬘所賦本朝新正詩韻謹賦二律　汝陰　松野　綠

初日冲天萬象新。祥光浮動瑞烟巡。關中關外歸王化。江北江南入壽辰。修訂鄰交分縞紵。振興內政淨兵塵。如今提挈同文國。共賦洋々東亞春。

黃鳥未嗜春色催。屠蘇欲醉更呼杯。千門萬戶歡聲湧。南陌北堂淑氣開。鶯旆攉風看悄々。龍旗迓日仰恢々。惡知幾派寰中水。今日朝宗渤海來。

君江ぬしに答ふ

第三樓　なにがし女

言ひ殘したる　言の葉を
忘れたるには　あらねども
硯の水の　凍るてふ
この寒そらも　いとわねど」
あすは戀ひしき　君か家を
訪ふことの　嬉しさに
過ぎ越し方や　行末と
思ひを運び　夜もすから」
明くれは悲し　籠の鳥
思ひし事の　仇なれや
又もや開く　酒むしろ
歐はやらじと　袖引きぬ」
まゝならぬ世の　情けなや
運命の神の　いたづらか
今は病の　床に泣き
君に會ふべき　すべもなし

春七句　木癭

春の雪掃き捨つへくもあらぬ哉
淀舟の浪華につく夜春の雪
啾ひ藥爐にあたゝむる餘寒哉
藪入や源八渡る女連れ
憂き猫に逢夜もあるや御徒士町
打更にふまれな屋根の猫の妻
甲板に梅一鉢のかほりかな

途上所見　汲古

凍りたる桶に河水くみし朝
歩む間に氷豆腐となりに鳧
鼻いきの頭巾に氷る道の人

廣告

告示

日本軍隊ハ主トシテ軍用手票ヲ使用セシヲ以テ横濱正金銀行牛莊支店ニテハ一時一覽拂手形ノ發行ヲ見合ハセシモ今ヤ平和回復シ滿洲ハ茲ニ全ク安靖ニ歸シ商務モ亦正ニ舊日ノ旺盛ヲ見ントス而シテ漸次軍隊ノ裁撤セラルヽコトニ從ヒ軍用手票モ亦之ト伴フテ交換回收セラルヘキヲ以テ横濱正金銀行牛莊支店ハ再ヒ一覽拂手形ヲ發行シ舊ノ如ク商務ノ便ニ供シ益々滿洲貿易ノ發達ニ資スル所アラントス右一覽拂手形ハ日本政府ノ認許ヲ得テ發行シ銀貨ヲ準備シ隨時交換ノ用ニスルモノナルヲ以テ汝等人民ハ之ヲ信用シ軍用手票ト同一ニ公私一般ノ取引ニ受授通用シテ毫モ疑アルヘカラス若シ夫レ奸譎ノ徒妄ニ浮說ヲ流布シ流通ヲ妨害シ以テ利ヲ博セントスルモノアラハ立トコロニ嚴罰ニ處シテ決シテ假借セサルヘシ各遵奉シテ違フ勿レ特ニ示ス

明治三十九年一月

關東總督男爵　大島義昌

告示

登記規則中改正の件

不動產登記規則中左の通り改正す

第十六條第一号中「千分の五十」を「千分の三十」とし同第二号「千分の十二」とあるを「千分の十」とす

告示

撫順大野兵站司令部にて來る三十日午前九時左の食用品及び糧秣品を競賣に附す二十五日より現品の縱覽を許す

競賣品目

干飯七十石携行牛鑵二千八百三十六貫普通鑵詰肉一万二千四百十四貫鹽鯛三千二百四十四貫茶三十五貫砂糖六十貫甘味品十四貫干魚六百三十貫干野菜一千百二十五貫醬油エキス五貫精米二十九石割麥二十石

牛家屯兵站司令部

告示

關東總督府
陸軍大將男爵　大島義昌

出示曉諭事照得横濱正金銀行向於上海天津牛莊等埠專爲利便交易起見發行銀元鈔票所有納欵諸凡交易均用該票無異現元通用極便商賈爲之暢通實於商務有益已爲人所共知也及至滿洲前爲兵燹之區我日本軍隊使用軍票是以該銀行暫行緩發者也日俄和平滿洲一帶全歸安靖商務亦將見其曆日之興旺我軍隊隨即逐漸撤退所發軍票亦應收回於是横濱正金銀行茲奉我日本政府允准一面再行發票一面置銀備換以便商務而資滿洲貿易之發達爲此示仰各色人民紳商等一體知悉爾等嗣後即將該銀行所發鈔票視同軍票均須通用勿得懷存猜疑可也倘有奸譎之徒諸言惑衆碍難通用以博漁利者一經查出立即從嚴懲辦決不寬貸各宜遵照無違特示

明治三十九年一月

告示

横濱正金銀行ハ從來上海天津牛莊等ニ於テ諸般取引ノ便利ノ爲メ銀ト引換ヘキ一覽拂手形ヲ發行シ來リシカ右ハ各種ノ公納其他一般商業上銀貨同樣ニ使用セラレ流通圓滑ニシテ金融ノ距通ニ資スル處多大ナリシハ業ニ已ニ普ネク知ル所ナリ襲キニ滿洲ノ地戰爭ノ區トナリシニ際シ

藝妓仲居新來御披露

此度新たに内地より藝妓仲居十數名を連れ參り候間御光來の上御評判の程願上候　草々

營口　高砂ホテル　高砂（電話一四五）

東營口郵便局東隣　島田洋服店

新民屯停車場前　同支店

牛家屯兵站司令部

會席料理　三日月　營口警務部前南に入る

◎フレノロジー

頭腦を觀察して身の上はんだんをなす

營口豐濟門街廿三號李俊氏宅の西牛町　利生堂

營口永世街　營口印字局

諸鐵工製作

鑛山船舶機械鑛工
軽便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般

營口綏定門街ブツシ商會東　川喜鐵工場

特別室落成披露

座敷は凡て日本式取扱至極鄭重に可仕候間陸續御來宿あらんことを伏て奉希上候

金城ホテル　旅館部

藝妓仲居新來披露

今回藝妓酌婦無類の別嬪數十名伴れ參り候間不相變御引立の程奉願上候

但し凡て純粹の江戸つ子

金城館料理部

營口　會席御料理　南隣慶樂温泉

營口永世街　一力　堀万助

營口

Yano & Co.
矢野洋行
Telephone No. 137　電話一三七

諸雑貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

謹賀新年

今般永世街通平野町筋へ轉居し一層安價に販賣致候間舊に倍し御用命の程奉願上候

博文館營口代理店
書籍、銘茶 賣藥、雑貨商
大坂屋

本家 日本東京神田鍛冶町 堀内大藥房

肺癆痰喘氣急傷風痰嗽小兒風邪疹後體弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

淺田飴（あさだあめ）

特約大販賣 營口永世街 東瀛大藥房

滿洲大販賣所

營口出張店は結氷中引揚ゲ候ニ付御用向ノ御方ハ遼陽出張店ヘ御來店アリタシ

遼陽停車場前 池上出張店
奉天 池上出張店

標子木板料木發賣
營口青堆子
清水寧木局

澤亀は醇良にして風味高尚なり

並ニ 札幌ビール 朝日ビール 政府專賣口付紙卷煙草 朝日 大和
酢 醬油 瓶詰樽詰
菓子 罐詰色々
洋酒類 取次販賣

釀造發賣元
宅合名會社
本店 大阪府堺市九間町
小樽支店 北海道小樽港町
臺北支店 臺灣臺北街書院
基隆支店 臺灣基隆街石牌
臺南支店 臺灣臺南街下南河
函館出張店 北海道函館區辨天町
遼陽出張店 清國遼陽城內西街
大連出張店 清國大連監部
營口支店 清國牛莊港東營口

雜貨
醬油 味噌 清酒
營口西北街
阪神組

軍隊用雑貨 日用品雑貨 呉服太物類 化粧品類 陶器類 食料品類
卸小賣
營口永世街百七十號(第二市場東)
其外新荷着精々安價販賣
石原商店

正札特別廉價
雜貨賣出し
一婦人髪道具一切及化粧品色々
一防寒シャツ手袋類
一靴下帽子類
一罐詰及履物
一小間物一切
一賣藥色々

質屋 永世街森病院隣
和清洋行
志田ます

SPECIAL LIGHT
(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライトはピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり
スペシャルライトは高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライトは其味輕くして高尚なり

釀造元 大阪朝日麥酒株式會社
營口發賣 關東公司雜貨部

工
營口元神廟前
飯塚工程局材料部
(電話百三十五番)

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

官製口付莨、文房具 和洋酒類 罐詰、菓子 藥品、雑貨 醬油瓶樽詰 防寒具、安價販賣
白米 卸商
營口西北街
(十) 豐生洋行
(電話十三番)

歐米各國最新流行形
永世街一四一(森病院三軒目)
西海洋服店
(電話百二十七號)

寫眞 永清
奉天府 大南門裡路西

酒保品 諸雜貨 卸商
營口永世街甲百廿七號警務課前
神崎洋行
▲其ノ外新荷着種々安價大勉强▼

福
●清酒 白鶴
●北海道產 玉葱
其他雑貨色々
大連揚汽車便 最新着荷
元神廟街
(福) 田中洋行

御旅館
奉天
茂林館
小西邊門內路北
日本物品依托賣買幷ニ滿洲各產物毛皮類ノ求ニ應ズ
追テ
家屋宏壯接待優遇

時刻

唐山至天津　上六、〇〇　下一二、〇六
塘沽至北京　上六、〇〇　下一二、〇六
天津至北京　上一二、〇〇　下五、二〇
山海關至北京　上八、〇〇　下六、四五
天津至山海關　上六、二五　下六、二一
唐山至山海關　上六、〇〇　上一一、五八
山海關至營口　上七、〇五　下四、五五
溝邦子至新民屯　上三、〇〇　下六、五七

上り列車
遼陽着　午後六、二三
奉天着　午後一二、〇六
奉天發　午前一一、〇〇　發　七、二〇

驛名	發着	時刻
大連	發午前	七、三〇
旅順	着	一〇、四九
營口	發午後	十〇、二五
大石橋	着翌前	一二、二〇

豫報

昨日の氣溫　最高溫度十七度八　最低溫度零下八度六

論說

論群治

學科者。所以造就無數人才。成無數團體。而歷史之影響。社會之發生。文明之開化。頗莫不增進焉。膨脹焉。具獨立之生活。而群其武力。群其心思。羣其教化。羣其風俗。以爲國家作城壁。作堡衞也。萬物受形以後。靈羣與頑群分。萬民受職以後。此群與彼羣分。羣以職分。羣亦以職合。異則分。同則合。善合而後善分。有分而後有合。分之以學。學各有群。合之以治。治可立群。學群而類聚。治群而化成。未有離群索處。而學問之道。日益開明。即政治上一切完全之組織。可以坐致者。故欲究學科。必自明群治始。昔者管子爲政。四民不使雜處。是以處士就燕閒。則士之群也。處工就官府。則工之群也。處商就市井。則商之群也。處農就田野。則農之群也。相親者相順相安。相歧者相傾相軋。獨則塞。塞則野。群則通。通則文。雖然。群亦有辨。有群形迹者。有群心智者。群形迹者。黨派之群也。創平權自由之詭說。效公和立憲之陳言。是之謂亂群。群心智者。道德之群也。論個人之聰明而無兩涉。郭衆人之才力而有一精。是之謂治群。群聚於治。散於亂。治於純。亂於雜。雜則僞。學日熾。可以惑庸人。而不可動君子。純則正學益明。可行之一日。而亦可行之百年。此群而不黨之說。聖人所以剴切言之。而深維世道人心也。或曰群非合[illegible]之謂。乃指司法行政軍事財務諸大端而言。嗚呼是一隅之說也。夫司法行政軍事財務諸大端。亦罔有不藉群策群力。而恃一人之才智。鹵莽滅裂以爲之者。且未有不學無術之人。而能致盛德大業者。明乎此乃可與言群治之關係。近者泰西各國。有政治團體。有社會團體。有民族團體。群學之說。遂以大明。而我以搏搏大地。偬々衆生。昔以類而理者。今以間而亂。彼以萃而强者。我以散而弱。群學廢。群治衰矣。誠能上先事以厲群之志。下合力以作群之氣。上下交修以儲群之才。而群治有不蒸蒸日上者乎。吾得一言以蔽之曰。士不群。學不立。學不群。治不興。

中外要聞

●新疆巡撫電致外部　護理新疆巡撫吳引孫電致外部略謂該省俄商私運槍支售給回漢商民雖經禁止究恐陽奉陰違且俄商久與回漢交通查其情形似有不測之虞爲此特希大部鑒示云云

●張家口開放擬聘洋　聞外部人云張家口庫倫開放中國官員難期振作必聘洋員司理出納方責實在利益此事會與商部會議須開放先期再爲奏請云

●伊犁鐵路緩行籌畫　伊犁鐵路俄人屢次向外部運動仿照東淸鐵路辦理儻讓俄國專修俄國願將○○○○利權退歸中國　現在外部決定自籌欵項修築伊犁鐵路以杜俄人要求刻因籌欵尙無一定方向又値新年在邇是以各堂憲緩行籌畫也

●售票章程之改良　政府王大臣商於鐵路大臣飭即改良公司售票章程革除積弊一事因聞鐵路售票每有任情剔駁隱有需索之意若不認眞整頓誠恐路政腐敗云云當由鐵路大臣飭行查辦矣

●政府大員連日會議之寔情　政府軍機練兵政務各大臣連日會議要政據可靠消息係爲大改官制並考試官員升降其職及奏請開設三等議院之事本年必見實行

●大內擬添安電燈　大內添安電燈　太后曾詢於內府大臣究竟與蠟燭費用如何內務府大臣奏對　內廷設立電燈雖暗隅亦皆光明易查奸宄較比蠟燭更爲儉省云云太后聞奏始爲首肯昨內務府大臣派員核計宮內外處所應設電燈若干開妥淸單再行具奏

●日本新造軍艦　政府由臨時軍事費中籌撥工費以建造各種兵船共有戰艦二艘裝甲巡洋艦四艘巡洋艦三艘水雷驅逐船二十九艘統計其載重約共八萬五千噸左右茲將工程現狀及各船載重開示於後

▲戰艦安藝號載量約一萬九千噸自本月間起建造▲戰艦薩摩號載重約一萬九千噸正在建造▲裝甲巡洋艦筑波號載重約一萬三千噸去臘已行進水▲裝甲巡洋艦生駒號載重約一萬三千噸本年三月間當行進水▲裝甲巡洋艦伊吹號載重約一萬三千噸本年八月當行進水▲裝甲巡洋艦鞍馬號載重約一萬二千噸正在建造▲巡洋艦利根號載重約二千五百噸正在建造▲巡洋艦最上號載重約二千五百噸正在建造　此外水雷驅逐船及潛水雷艇今不具錄

●俄人不欲張家口設關　淸國前議在張家口設關征稅一事聞俄人之意頗不悅從大致謂該處早有監督征收稅項今再設關於意何取云云而當道大老等咸謂此事係關內政中國自有主權將來欲如何籌辦之處非外人可以干預也聞將來必欲舉行此議

●奉天守路兵之計畫　奉天將軍趙次帥電商政府云東淸鐵路護兵雖已議定由日兵駐護然我國亦宜籌議於四五十里內亦派兵駐紮較爲妥洽究應如何佈置希即電示以便遵行

●日本船廠承造中國之艦艇　日本神戶函云神戶川崎造船廠近承中國訂製船艦計有上海海關巡船流星號一艘(七百二十墩)湖廣總督張宮保定製炮艦楚泰號楚同號楚有號楚謙號楚豫號楚觀號等共計六艘又水雷艇湖鵬號湖鶚號湖隼號湖燕號等共計四艘江督周玉帥近亦定製如前江元號式之砲艦二艘已由該廠代表者在寧訂立合同矣

雜報

白話告示照登　續

一是硼硼戲人要正事辦完有了餘閑工夫玩樂也是不可少的就是有箇有益無益的分別你們不可不明白要看了演要眞奇藝術必定增長見識看了忠義戲劇自已要强的心也必發動如那遊覽山水爲的是舒暢性情踢球打彈爲的是活動筋骨這全是有益的玩樂趕到硼硼戲可就不同了打扮那種樣子裝作那種醜態演唱那種淫詞亂人性情勾人淫心年輕的男女不知有多少受這箇害的呢本縣既知道是與你們最無益的事就要禁止拿辦的你們也別再唱這樣戲了

一是唱影戲要不講究眞理好象唱影沒甚麼不好似的你們仔細想想影戲上演的甚麼神咧仙咧妖怪咧飛刀咧飛劍咧到是怎們箇道理呢你們無見識的愚民腦裡印上這奇形怪象心裡可就沒了眞理了這不是妨害你們心思理想的道兒嗎本縣也是不能不禁止的要是唱影的人能够把那奇形怪象的戲一概免去編出愛國自强的好戲來不但准其演唱還要加意保護呢

一是跳神跳神的害處更是又大又甚了要不給你們講說說你們那能破除迷信呢大約跳神爲治病的多說說病的原故罷人的全身內外五臟六腑五官四肢筋骨脈絡各樣部分沒有一樣不管事的要有那一部分不能管他的事立刻就顯出病來他怎麼不能管他的事呢這全因空氣裡水理有各樣無數的微蟲一時防範不到隨着飲食進去在那一部分發生那一部分就不能自由了要沒有殺害這類微蟲的物惟要除治他還要越鬧越大呢那微蟲致病的道理太多一時不容易說完有看過醫學衞生生理各書的自然就知道了說起來人的生病是有一定眞理的你們未得病的時候不知道講究衞生防備生病的根苗有了病也不知道按理醫治專用騙人的男女請神請仙捉妖送鬼種種行爲明白人看見實在可笑你們到信的了不得這有多們可憐哪也不想想那有聰明正直的神這樣胡鬧呢被人騙些錢財還是小事悞了病人生命豈不可惜呀並且弄得世人一味邪迷遇見眞理自强的好事反到看成外務了這要再不禁止你們那能知道眞理望那自强道上想呢此後本縣必要派差查拿的了

以上對你們說的各樣事情全是去你們的害處破你們的迷信你們聽見這話趕快把那些邪魔外道一概看成仇敵講究講究實事實理看看實學書時務報各人學各人自强的本事纔不負人生的道理要再執迷不悟不知改悔那就是敗壞風俗的人了一經查拿本縣可是不能寬容的呀切切特諭

(完)

叢談

●多疑壞事　有一個懷疑先生　不拘做什麼事　總是多疑　人就給他起了一個外號　叫做懷疑先生　有一天他寫了一封信　已經寫得裝在信封內了　還疑惑信紙裝倒　又抽出來看看　看過裝好　還疑惑信紙裝反　又抽出來看看　看過裝好　還疑惑信紙張數前後弄亂　又抽出來看看　看過裝好　還疑惑信上話或有遺漏　信內稱呼或有錯說　回信地名或忘開明　又連抽出來　看了幾回方始封口　等到封好送到車站　火車已開行了　這就叫做多疑壞事　古人說　疑事無成　疑行無名　眞是一點兒不錯

●四大經濟　一人問道　世界上賺錢的　分幾項　答道分四項　那四項呢　答道　勞動家　資本家　地主家企業家　勞動家所得的　叫做勞銀　資本家所得的叫做利息　地主家所得的　叫做地代　企業家所得的叫做利潤　全球萬國　出不了這四大經濟　那人又問道後三項　我都明白　第一項勞銀　怎樣講呢　答道比如做官的　一年到頭　辛辛苦苦　所得的月俸年俸就叫做勞銀　那人笑道　還是叫經濟銀　好聽點兒　答道　勞動二字　並不難聽　動是運動　勞字更爲美名官塲不是有一句常說的普通語　叫做賢者多勞嗎

NEWCHWANG, SUNDAY, JAN. 28, 1906.

The third of the interesting series of musical services was held in the Assembly Rooms on Wednesday evening from six to seven o'clock, Dr. Phillips presiding. The audience was as large and respresentative as in former meetings, showing that the service is distinctly appreciated by the community. The singing was if anything even better than ever, especially the solo by Mr. Oudin, which was most effectively rendered. The port will miss Mr. Oudin much, and not least at these thoroughly undenominational gatherings, to which he has so readily and so effectively contributed. Dr. Phillips gave an admirable address.

"That, in the opinion of the Club, voluntary training in the use of arms is superior to compulsory military service," was the amended resolution proposed by Dr. Phillips and adopted by the majority at the 3rd. meeting of the Newchwang Debating Club, at Rev. Mr. Sprent's on Wednesday evening last. Mr. Sammons was in the chair. Dr. Daly opposed the resolution. He began with an appeal to ancient and modern history, pointing out that warlike nations have prospered while weaker ones have always gone to the wall. He made an exception of the United States and Canada which are, from their geographical situation, practically immune from hostile invasion. "In Europe and Asia," continued the speaker, "might is right still. The Manchus were once a powerful race, because of the enforcement of compulsory military service. But, after their conquest over China proper, they have lapsed into laxity, bringing about the present helplessness. Japan was asleep 40 years ago, but, only through the early adoption of the conscription system, she could defend her very existence twice in the Japan-China and the Russia-Japan War. Modern arms of precision cannot make a trained soldier of a man in a short time. The cost of paid soldiers necessarily limits the number of the standing army. The British militia institution with 47 days' training and 13 days' musketry practice is inadequate to turn out men fit for the field. Did not Great Britain suffer 3 reverses in a month in an early stage of the Boer War? This has set military authorities at home, such as Gen. Sir Ian Hamilton to serious thinking. And to-day, a cry for compulsory service is growing louder, promising a materialization of the plan sooner or later, that all able-bodied men, save certain exempt classes, may efficiently serve their country in time of emergency. A slight interference with labour or commerce can be more than made up for by a beneficial effect upon physical degeneracy. And the country so forearmed will greatly contribute towards the maintenance of peace by commanding the respect of the aggressive Powers."

Capt. Benson, in defence of the resolution, spoke in substance as follows: "Conscription was initiated by the fiend in human flesh Napoleon I. to satisfy the cravings of his ambition. The other continental nations followed suit, not out of necessity, but because the Conqueror had set the fashion. Could not the Austrian peasants defeat the French more than twice? Was not Waterloo won by the Iron Duke with British soldiers who were not conscripts? 1 free man is equal to 5 conscripts. Most of continental emigrants migrate mainly to escape the conscription and the heavy tax levied for keeping the armed camp. The system is not a benefit but a curse. The cry for the conscription was raised in Great Britain by a few alarmists after the Boer War. But the Boer-peasants could hold the British at bay for 2 years. It is the spirit, not the training, that decides the issue in war. The Briton will volunteer to fight for his country, but can never be forced to fight as a slave. Introduce a universal system of physical training with plenty of target practice. This will equip a man to shoot straight and improve his moral and physical fibre. The sense of duty in a free man will do the rest. The War Lord, with all his pacific intentions is ready to go to war, because he has millions of conscripts behind him. Besides, military despotism threatens national bankruptcy."

Every one present spoke *pro* or *con* at more or less length. However, space barring, no mention can be made of them.

Capt. Benson won by 17 to 12.

營口旅館料理店案內（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 柏屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

旅館 千代田旅館 永世街甲八十七號 店主 高橋きみ

料理 沖の島 永世街十八號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一）店主 麻田久二

旅館 彌生館 永世街百六十七號

料理 やよひ 永世街百六十七號 店主 宮下只七郎

料理 滿月 平野町百八十二號（電話一六二）店主 青木勝惠

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

御料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

料理 松迺家 元神廟街 矢野洋行向ひ 店主 山本壽三郎

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

旅館 大和館 永世街六號 店主 前田九一郎

旅館 金城ホテル 永世街百六十六號

料理 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街

さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

東京一流 かき飯

和洋御料理 第二東京館 元神廟街 店主 松田平四郎

和洋料理 本店 松月亭 營口元神廟街一四三号

和洋料理 御旅館 支店 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案內

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 井上源吉

御料理會席 菊水館 主任 朝枝圓捻

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀨宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 凱旋亭 色々應御注文 主任 古谷庄太郎

爲替相場（一月廿七日）

日本向 軍票百圓に付金九十五圓五十錢

上海は百圓に付六十七兩二錢五分

天津向は百圓に付一百〇八五圓五十錢

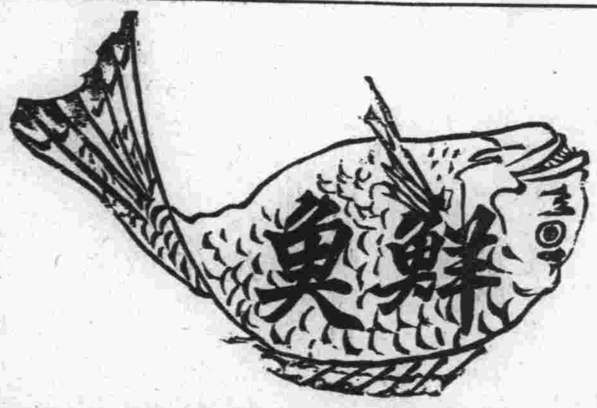
芝罘は天津と同直段

日本品最近物價表　加藤洋行調査

菊正宗	三斗九升入	銀二十圓
麒麟正宗	四斗四升入	同十七圓
菊正宗	壜詰四打	同十五圓
鮭罐詰	四打入	同十三圓
ラツキヨ	五打	同十四圓五十錢
辛子漬	四打	同九圓五十錢
フキ	仝	同八圓
鷲ミルク	仝	同十八圓
石炭（飯塚工程局）上等塊炭	一噸ニ付	銀十八圓

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙



弊店儀雜貨專業之處今般營業務擴張の上日本は勿論滿洲に支店を設け併て鮮魚の御小賣充分勉強の上御用達可申候間倍舊の御用命被仰付度奉願上候 敬具

營口南永世街百廿七號 森屋洋行
大連大山通り二丁目 仝支店
遼陽西門外 代理店 林洋行
奉天小西門外 代理店 米田洋行

御徳用品 新荷着急告

○食料罐詰○
○塩魚干魚鰹節○
○乾物色々○
○亀甲万印醬油○
○赤白味噌○
○菓子類数種○
○銘茶各種○

營口永世街警務課前南へ入 林屋洋行

料理 鋤焼 喜楽亭 營口元神廟街 亭主元權岳江

御料理會席 來々亭 主任 石田清

御料理會席 玉家 主任 西野治三郎

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

御旅館 天津 芙蓉館 駐屯軍御用 並西洋料理（電話四十一番）

北京 扶桑旅館 東單牌樓大街路西 客室清潔料理鮮新

御旅館 上海 豐陽館（電話一〇六番）日本郵船會社荷客取扱 歐米流船乗船取扱 館主 米田藤吉

營口中央市場前 萬事勉强乘車乘船好位置 旅館 東京樓 店主 熊田兼次郎（電話百七十八番）

即席和洋料理 東京樓支店（電話四十四番）

西洋料理仕出し御需應にず

奉天日本旅館 瀋陽館 家屋宏壯清潔 接待優遇懇切 開放仝時ニ開業 奉天小西門外大街路北

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 一石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭
○亞鉛板 ○洋釘
○干塩魚 ○石灰

喜久洋行 永世街八十號（電話百五十二番）
御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也

御旅館兼待合所 並にうどん、そば
今般大々的勉強を以て右營業仕候間御乗降の都度御休泊被下度奉希候
牛家屯停車場前 若松家
各位様

和洋御料理會席
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同様に大勉強仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町 日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町 日本館支店
各位様

S.K ATO & Co.
Hongname "Chah Tung."
Yingkow, Telephone No. 80.
Main Store.
Japanese Concession, Tientsin,
General Store-keeper & Commission merchant.

銘酒 菊正宗 新着!!
營口明覽年定價にて差上ます
祝新年、 の營內分
雜貨商 加藤洋行（營口電話八十番）
本店 天津日本租界
支店 營口 北京
出張所 遼陽 大阪